



女性活躍推進法が施行されるなど、女性を含めた働き方が見直されています。

今回は、女性の活躍により創造性・生産性が向上している昭和電工株式会社喜多方事業所および昭和電工喜多方アルミ株式会社の社員 齋藤さん、佐藤さん、長曾部さん、張さん、秋山さん、黒田さんに話を聴きました。

昭和電工株式会社喜多方事業所・昭和電工喜多方アルミ株式会社 (アルミ合金連続鑄造棒、押出品、鑄造品の製造など)

従業員数 379人(男性319人 女性60人)

昭和14(1939)年にアルミニウム電解工場として設立され、長年にわたり培ってきた技術やノウハウを活用し、アルミニウム合金の材料設計から鑄造、鍛造に至る一貫した生産体制で主に自動車部品の生産を行なっている。平成30(2018)年1月より昭和電工喜多方アルミ(株)を設立し、昭和電工(株)と一体となって事業展開を行っている。事業を通じて豊かさや持続性が調和する社会の創造に貢献する「社会貢献企業」の実現を目指し、多様な人材を積極的に活用しようという考え方の『ダイバーシティ』の実現およびワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組みをしている。

現在の仕事の内容を教えてください。

齋藤さん 来客対応、窓口業務、備品管理、社内行事の企画運営などです。

佐藤さん 製品の成分分析、工場内の水質分析、開発関係の対応分析など分析関係の仕事です。

長曾部さん 主に資材調達・工事・製作の発注、産業廃棄物実務担当をしています。

張さん 金属材料の開発をしています。

秋山さん 鍛造品の設計、開発を担当しています。

黒田さん 教育や採用などの業務を担当しています。

ワーク・ライフ・バランスなどの取り組みはありますか。

齋藤さん フレックスタイム制度があり多様な働き方ができる環境が整備されています。子どもの通院や突発の体調不良にも柔軟に対応できるので活用しています。

長曾部さん 急に休まなければならぬときなど、上司の理解がありとてもありがたいです。

秋山さん 担当している業務が立て込んでいる場合など、チーム内で業務を分け合うことで無理な残業をしなくても済むような配慮があ

ります。

張さん 「妊娠・出産・育児・介護」についての女性社員座談会などがあります。

家庭と仕事を両立させるポイントは何ですか。

齋藤さん やるべきことがたくさんあるので、完璧を求めすぎないことです。職場や家族のサポートをもらいながらバランスよく行うようにしています。

ダイバーシティに関する取り組みについて教えてください。

黒田さん 社員の多様性を尊重し、経営戦略の一つにしています。現在は「マネジメントを変える」「コミュニケーションを変える」「働き方を変える」「自分を変える」の4つの変えることに視点をおき、取り組みを進めています。

「パパキャン」という取り組みをしていると聞きました。

黒田さん 男性社員の育児参加を積極的に促進する「男性の育児参加取得キャンペーン」を略して「パパキャン」と呼んでいます。2歳未満の子を持つ男性社員に育児休暇の取得を促しています。

働いていて良かったと思うときはどんなときですか。

張さん 分析などで良い試験結果を得たときに楽しいと感じます。

佐藤さん 職場での人との出会い、そして、さまざまな知識を深められることです。

長曾部さん 広い心で見守ってくれる上司がいることです。

あなたが考える男女共同参画社会とはどんな姿ですか。

齋藤さん お互いの固定観念を押し付けるのではなく、それぞれの個性を理解し、自分らしさを持つて個人が輝ける社会だと思っています。

秋山さん 個々の得意な分野を認め合い、それを生かして働ける社会だと思います。

今後の抱負を教えてください。

佐藤さん スキルアップを目指して頑張りたいです。地域活動やイベントにも積極的に参加し、社会貢献もしたいです。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。

問 企画調整課 企画調整班
(24) 5209